

第6回岡谷小学校のあり方検討委員会 会議録（要旨）

1 日時

平成25年11月29日（金）午後7時～午後9時05分

2 場所

岡谷市保健センター

3 出席者

委員 原豪志委員、林裕一委員、宮崎勇委員、三村田卓委員、藤森眞由美委員、林幸三委員、小林啓助委員、薩摩林忠美委員、沓掛貴芳委員、濱一平委員、武居崇委員、原史郎委員、八幡義雄委員、原山智委員、森本健一委員、荒深重徳委員、古本吉倫委員、岩下貞保委員（名簿順）

計18名（欠席者：田中沙里委員）

地質調査業者 ㈱長野技研

岡谷市・岡谷市教育委員会

河西稔建設水道部長、橋爪哲也教育担当参事、吉澤洋人教育総務課長、山本文明土木課長、古川幸男危機管理室長、山岸徹企画課長、三澤達也学校教育主幹、高橋卓教育企画主幹、清水亮教育総務課主査、宮坂洋平教育総務課主任

○会議次第

1 開会 午後7時

2 議事

（事務局から会議の成立報告。続いて、委員長から本日の会議の傍聴について、分科会については各会場に分かれて議論を進めること、これまで発言のできなかった委員にも発言をいただきたいこと、各分科会で作された意見については最後の全体会において報告されることから、分科会については非公開とし、全体会のみを公開としてはどうかと委員に諮った結果、異議なく承認された。）

<議事の内容>

- (1) 前回の報告等について
- (2) 会議の進め方について
- (3) 分科会
- (4) 全体会(分科会の報告)
- (5) その他

【委員長】

- (1) 前回の報告等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(前回の会議で資料請求のあった「平成 25 年 8 月 15 日の雨量と平成 18 年 7 月豪雨災害時の雨量」について資料を配布し説明。)

【委員長】

このことについて、質問や意見はありますか。

(なし)

次をお願いします。

【事務局】

(前回の会議で配布した移転検討資料の中で、通学区に一部間違いがあったため資料の差替えを依頼。)

【委員長】

このことについて、ご質問・ご意見等はございますか。

(なし)

次をお願いします。

(2) 会議の進め方について

【委員長】

今後の予定も含め、会議の進め方について説明いたします。事務局をお願いします。

【事務局】

今後の予定につきましては、今日から分科会での検討となりますが、お手元に配布しました「岡谷小学校のあり方検討委員会当面の予定」をご覧ください。こちらは、第 1 回の検討委員会でお配りした、本検討委員会の日程を基本に作成したのですが、この日程にありますとおり、平成 26 年 3 月には、提言案の検討とございます。つまり、3 月にはこの委員会として一定の方向づけをし、提言の案を検討することとなっております。従いまして、各分科会の進捗状況にもよりますが、2 月もしくは 3 月までの間に分科会での検討を行い、その後、あり方検討委員会としてのまとめに入っていきたいと考えております。

次に、分科会の進め方についてですが、まずその次の資料をご覧ください。こちらが、各分科会の構成になります。委員の皆様から希望を取りましたが、すべて第 1 希望でこのような構成になりました。この構成表で、◎の付いた委員さんがいらっしゃいますが、この委員さんに各分科会のコーディネーターということで、司会進行をお願いしたいと思っております。「現地存続」については古本委員、「移転」については森本委員、「統合分散」については八幡委員長よろしくお願ひいたします。

次のページをご覧ください。分科会の進め方についてです。今申し上げましたとおり、各分科会の司会進行については、コーディネーターの委員さんをお願いします。それから、各分科会には、市職員を事務局として配置し、最後の議事録の作成及び全体会での

報告を行います。

次に、検討内容ということで、①番から⑤番ございます。まず①として、これまでの検討委員会での議論も踏まえ、各委員さんから「現地存続」の分科会であれば「現地存続」について思うことや意見、思いの丈をお話していただきたいと思います。

次に②です。次のページに「これまでの検討委員会・説明会で出された代表的な意見（希望）」という資料がございます。こちらも参考にさせていただきながら、各々の案の優位性を整理していただきたいと思います。要するに各案のメリットということになります。

次に③ですが、各案を実現するためには、どのような課題があるのかということで、「移転」の分科会であれば「移転」を実現するために何が課題になるのかを整理します。

次に④として、③で出された課題に対して、解決の方策を整理します。または、方策を検討するにあたり必要な資料があればそれを整理していただきたいと思います。④の下にカッコ書きしてありますが、今日の分科会で、①から④まですべてを検討することはできないと思います。先ほど申し上げましたが、分科会については3回ないし4回ほど行う予定ですので、その中で、すべてを整理できればよろしいかと思えます。

最後に⑤として記載してございますが、分科会の報告ということで、毎回分科会の後に全体会の時間を設けますので、全体会に報告する内容を確認していただきたいと思います。時間の配分といたしましては、20：40 から再度この部屋で全体会を行いますので、分科会の検討を20：20頃までとして、その後の10分間をまとめの時間としていただいて、20：40には全体会を始められるよう、お集まりください。

それから、最後の全体会についてですが、最後の全体会では、各分科会の事務局より、検討の途中経過と出された意見の報告をしていただきますが、他の分科会に対するご意見ご質問等がある場合には、お手元にお配りしました資料の最終ページの「質問意見記入用紙」に記入して事務局へFAX等により提出していただくか、メールをいただければ、次回その分科会へ提出いたします。例えば、「現地存続」に属している委員さんが、「移転」の分科会で是非議論してもらいたい課題や意見がございましたら、「移転」を○で囲んでいただき、その下の質問・意見の欄へ記入をお願いいたします。

説明は以上になります。よろしく願いいたします。

【委員長】

このことについて、ご質問・ご意見等はございますか。

(なし)

それでは、各分科会に分かれて議論をお願いしたいと思います。

(3) 分科会

(各分科会の会議録は別紙。)

(4) 全体会 (分科会の報告)

【委員長】

本日の分科会で出された意見や事務局に対する資料請求等、分科会ごと報告をお願いいたします。

【事務局及びコーディネーター】

(各分科会で出された主な意見等の報告。)

<現地存続分科会>

- ・岡谷小学校は自然環境が良いので残してほしい。
- ・地域から学校が無くなることで、子どもがいなくなることへの危機感がある。
- ・危険だ危険だと言うが、どの程度の危険なのか分からない。市は不安を煽っている。
- ・必ずしも現地存続ではないが、現地存続についてももう少し慎重に議論すべきではないか。
- ・次回の課題として、市の財政的に見て 30 億円がどうなのか。市の財政状況を知った方がよい。
- ・他の学校の地盤状況が分かる資料を出していただきたい。
- ・どのくらい危険なのか分からないとの話があったが、専門家でも正確なことは言えないと申し上げた。

<移転分科会>

- ・移転のメリットは、子どもたちが新しい学校で勉強できること、岡谷小が残っていくこと等がある。デメリットは、建てるまでに時間がかかり、一旦は分散しなければいけないことがある。
- ・移転先の候補地には、それぞれ課題がある。子どもにとって何が重要なのかを考えるべきではないか。
- ・岡谷小の良さは自然環境が良いことにあるが、現地にいなければ自然を享受できないということではないと思う。
- ・自然環境が良い岡谷小の跡地利用についても考えていきたい。
- ・次回は、移転先のメリットデメリットを検討して、方向性を出したい。
- ・平成 32 年以降の児童数の予測が分かる資料を出していただきたい。
- ・イルフプラザ北側駐車場の市有地部分と民有地部分が分かる資料を出していただきたい。
- ・岡谷小は子どもが育つ上において素晴らしい環境がある。体育、理科、情操教育としての環境があり、陶芸もできる。現地でなく移転したとしても、子どもにとって活用できる財産として、伝統を守っていくことが大事。跡地利用を考えることが移転分科会の役割。

<統合・分散分科会>

- ・現地存続については、専門家でもないし、責任も持てないので判断できない。識者の先生が難しいと言うのであれば、現地存続は難しいのではないか。
- ・岡谷小への進入路が 1 本しかなく、特に冬期は危険を感じる。先生や給食食材の運搬業者は積雪があった場合には、車を下に置いて歩いて登っている実情もある。有事の際に

緊急車両が入れない可能性があること等を考えると、現地は難しいのではないかと。

- ・どんなにお金をかけても不安要素が残るのであれば、なかなか難しいのではないかと。
- ・一方で、お金をかければ現地存続も移転も可能ではないかと。
- ・現在8小学校がバランスよく配置されているが、岡谷小が無くなればそれが崩れてしまうので、例えば駅南に統合後の新しい学校を作ればいいのでは。
- ・現地存続も移転も統合分散も、経費と財源と時間を考えるべき。
- ・通学路の安全確保ができるのか。
- ・夢のある分散ができるのか。
- ・将来的には岡谷市全体の学校の統廃合は避けられない。伝統や文化にとられることなく、新しいモデルプランとして特色ある学校づくりや、夢のある学校づくりを検討する必要がある。
- ・分散という言葉にかなり抵抗を感じる方が多い。
- ・次回に向けて、岡谷小学校の児童を別の小学校に通わせるということについて、何パターンかシミュレーションをしてもらいたい。

【委員長】

その他、コーディネーターから何かあればお願いします。

【委員】

分科会でも話をしたが、具体的な数字で危険度を評価することは無理。そうかと言って、どこも似たような危険度と言うのも乱暴なので、もう少し細やかに情報を共有する必要があると思った。その上で、もっと踏み込んでお金のことを含めた総合判断が必要になる。

【委員】

岡谷小の伝統や重みは分かるが、大きく時代が変化している中で、新しい伝統をどう作っていくか、新しい学校作りをどのように進めていくかを考えることも大事だと思う。ハード面だけでなく、ソフト面をどうするかを考えることが大事だと思うので、市教委としてもどんな学校づくりを目指すのかを今後検討していただければと思う。

【委員長】

全体会、分科会を通して、本日の会議で何かご発言のある方はいらっしゃいますか。

【委員】

各分科会の議事録はもらえるのか。

【事務局】

分科会ごとに会議録を作成し、配布する。

【委員長】

他にありますか。

(なし)

委員さんによっては、立場上のことやいろいろな重みから、発言することに負担を感じている方もいるので、今後も分科会については、非公開でお願いしていければと思う。

(5) その他

【委員長】

次回の日程について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

次回第7回あり方検討委員会については、12月の中旬を予定しております。

日時が決まり次第通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

委員の皆さんで何かありますか。

(なし)

以上をもちまして、本日の検討委員会を終了します。

閉会 午後9時05分